

## 第3回各務原市本庁舎耐震化基本構想策定委員会 議事概要

日 時 平成26年10月8日(水) 15時30分～17時00分  
場 所 各務原市役所本庁舎 4階大会議室(東)  
出席委員 杉戸真太委員長、福島茂副委員長、土井康生委員、藤吉里美委員、  
小島秀俊委員、山本直委員、森勇委員、花田澄子委員、三浦真由美委員、  
五島伸治委員、広瀬正輝委員  
欠席委員 柳原幸一委員  
傍 聴 人 2名

1. 開会
2. 委員長あいさつ
3. 協議
4. その他
5. 閉会

### 議事録(要旨)

#### 議題 耐震化の整備方針について

主な意見及び質疑応答
(委員) 財政調整基金を耐震化に使うことはできるのか。それともこれから別で基金を積み立てていかなければならないのか。
(事務局) 財政調整基金は余裕のあるときに積み立てているもので、庁舎の整備にも利用可能であるが、委員会で決定した整備の方向性に合わせてこれから基金は積み増していき、財政調整基金をなるべく使わずに進めていきたい。
(委員) 市民税が上がるようでは困る。市役所以外にも改修が必要な施設は他にないのか。小牧市役所においてスロープが少なく、車椅子やベビーカーの利用者は2階まで上がるにもエレベーターを使わなければならない、手軽に階を行き来できると良いのではないだろうか。
(事務局) 耐震化については、必要な小学校等の耐震化は完了しており、あとは市役所だけという状況。市民税は制限税率が決まっているので上がることはない。スロープを設ける場合1階上がるために長い距離が必要となるため難しいが、様々な他市事例をふまえ検討していきたい。
(委員) 江南市を視察に行くまでは、安易に予算があれば建替えをすれば良いと考えていたが、実際視察して江南市職員の方々がホコリや音、不便な中で働いており、見栄えもよくなるにもかかわらず建替えなかった理由が今後の事業計画や市の財政事情によるものであった。また、小牧市の建替えた庁舎を視察したときは、やはり新しいものは良いと感じたが、各務原市は実際に建替えにあてる予算はあるのか。

- (事務局) 耐震補強でも建替えでも予算は計画性を持って対応していく。方針やスケジュールが決まり次第予算を検討し、庁舎等整備基金を引き続き積み立てていくつもりである。
- (委員) 現段階で各務原市に余裕があることはわかるが、不測の事態で各務原市が財政難に陥った場合にも、問題ないのか。
- (事務局) 不測の事態に対応するために財政調整基金を積み立てている。財政は健全であり、現段階で備えることができると思う。
- (委員) 財政調整基金を使うつもりはないとあるが、使わない場合、何年後を見据えて予算を積み立てていくのか。
- (事務局) これまで決算で生じた剰余金の一部は、主に財政調整基金に積み立ててきたが、平成25年度から庁舎等整備基金を設置し、庁舎等整備基金にも積み立てている。今年度からも議会の理解を得ながら庁舎等整備基金を更に積み増し、なるべく財政調整基金を使わず、耐震化整備事業を行いたいと考えている。整備時期については、最短で行った場合で平成31年くらいを想定している。また、耐震化は早急に対応すべきであるが、現在工事費が高騰しているということもあるため、工事の時期については検討する必要がある。
- (委員) 財政調整基金が比較的順調に積み立てられてきているが、なぜか。
- (事務局) 旧川島町との合併に伴い国の財政支援措置を受け、通常よりも多くの地方交付税が配分されていたことや、不断の行財政改革による着実な経費の削減を図った結果から生じた剰余金の一部を積み立ててきたため。
- (委員長) 財源の話もあるが大地震は明日起きるかもしれない状況にある。耐震性能を上げる前に大地震が起きれば厳しい状況に陥るのは目に見えており、早急に対処すべき。
- (委員) パブリックコメントは委員会で方針が決定してからか、それとも並行して行うのか。
- (事務局) 方針が決まり次第スケジュールを組み素案を元にパブリックコメントを実施するとともに12月から1月にかけて各地区で説明会を開催し、その意見等をもとに、最後の策定委員会で最終的な答申を、まとめていきたいと考えている。
- (委員) 耐震化の各方法の評価を得点化しているが、その評価及び配点の妥当性は。
- (事務局) 現庁舎の課題の整理を検討し、手直しを行いながら得点化したものである。各項目の配点は、重要度に応じて行っている。例えば重要度の高い防災性、耐用性については、最も高く配点している。
- (委員) 防犯性は現在の建物でも工夫できるのではないかと。また、職務者の利便性のみを考え重要度を低くしているが、職務の効率が下がることは経済性に関係するため、もう少し重要度を上げてよいのではないかと、検討してはどうか。
- (事務局) 防犯性に関しては新築の庁舎と同等の性能を目指すには、費用が高額とな

る。利便性に関しては、検討した上で今回の耐震化の検討において高い重要性として位置づけることが難しいと考えこのような結果となった。策定委員会において重要と思われる項目を重要度3とした。

(委員) 項目ごとの点数付けについては他市でも活用しているのか、それとも独自に検討したものか。

(事務局) 他市においても機能項目ごとに点数化し判断材料とする事例がある。耐震化という観点から配点し、今回独自に採点した。

(委員) 現庁舎位置で建替えと現庁舎駐車場敷地又は別敷地で建替えの工事費用の差が1億円となっているのは何が違うのか。

(事務局) 現庁舎位置での建替えでは、仮設庁舎費7億円と引越し費用2回分を想定し、現庁舎駐車場敷地又は別敷地で建替えでは公用車車庫の建設費用6億円と引越し費用1回分を想定しており、その差額が約1億円となっている。

(委員長) これまでの議論をふまえ、今後の本委員会における検討を、建替えの方向で行っていかうと思うがいかがか。

(委員) 異議なし

(委員長) 次回から建替えの方向で検討していくこととする。